



## 第14講 授業力の向上：これからの時代に求められる教師像

---

資質・能力の定義からICT活用、そして実践的研修へ

各務友浩（岐阜県教育委員会・指導主事）

# なぜ、今「変革」が求められるのか？



## 社会の急激な変化

- ・ グローバル化
- ・ 情報化の進展 (Society 5.0)

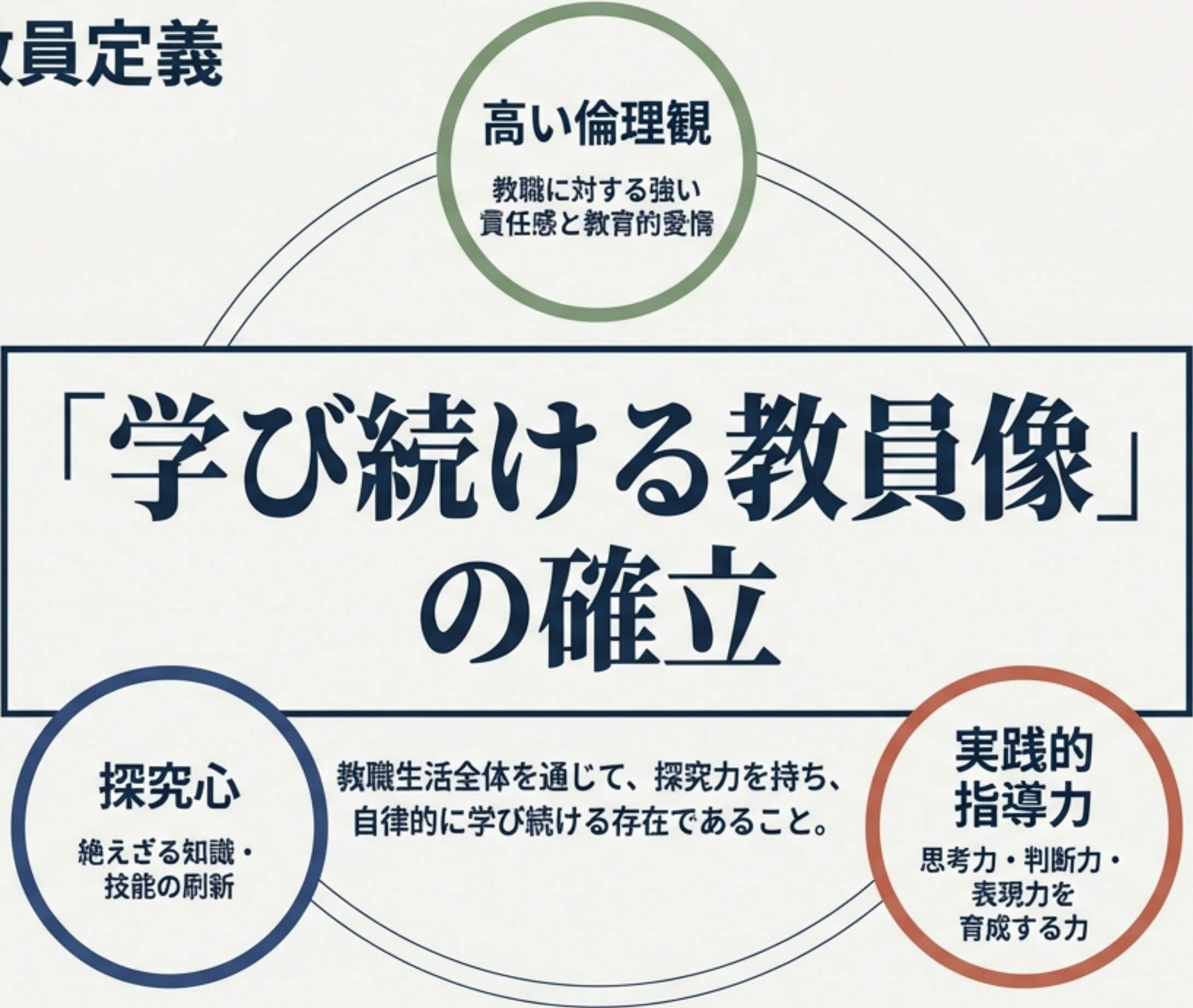


## 学校現場の複雑化

- ・ いじめ、不登校
- ・ 貧困、児童虐待
- ・ 発達障害などの多様なニーズ

社会の急速な進展の中で、知識・技能は絶えず刷新が必要となる。  
かつての知識だけでは対応できない時代が到来している。

# 新時代の教員定義



# 教員に求められる資質能力：3つの柱

子供たちの成長

使命感・責任感・  
教育的愛情

- ・教職に対する責任感
- ・探究力
- ・自主的に学び続ける力

高度な専門職とし  
ての知識・技能

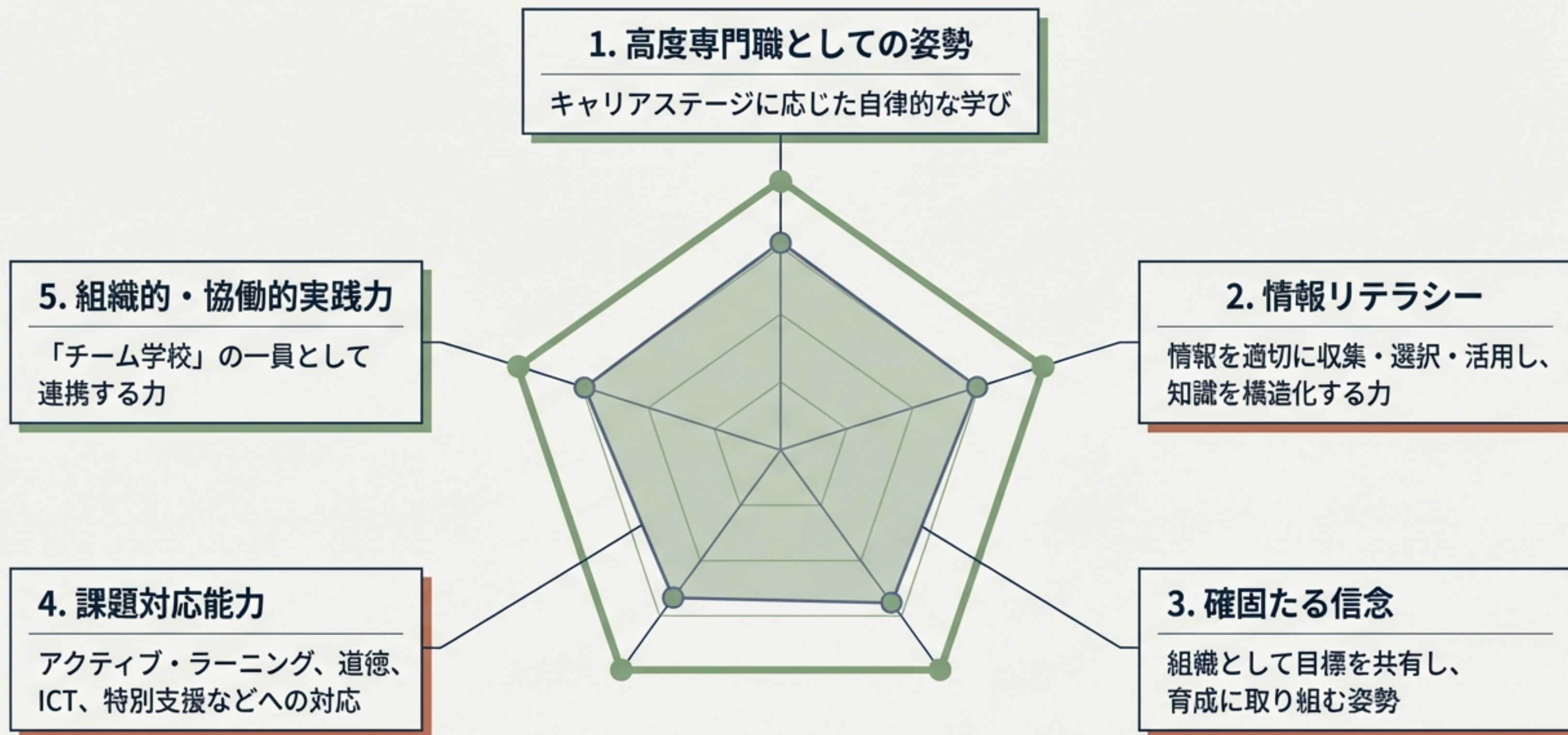
- ・教科の専門性
- ・新たな学びを展開できる実践的指導力（アクティブ・ラーニング等）

総合的な人間力

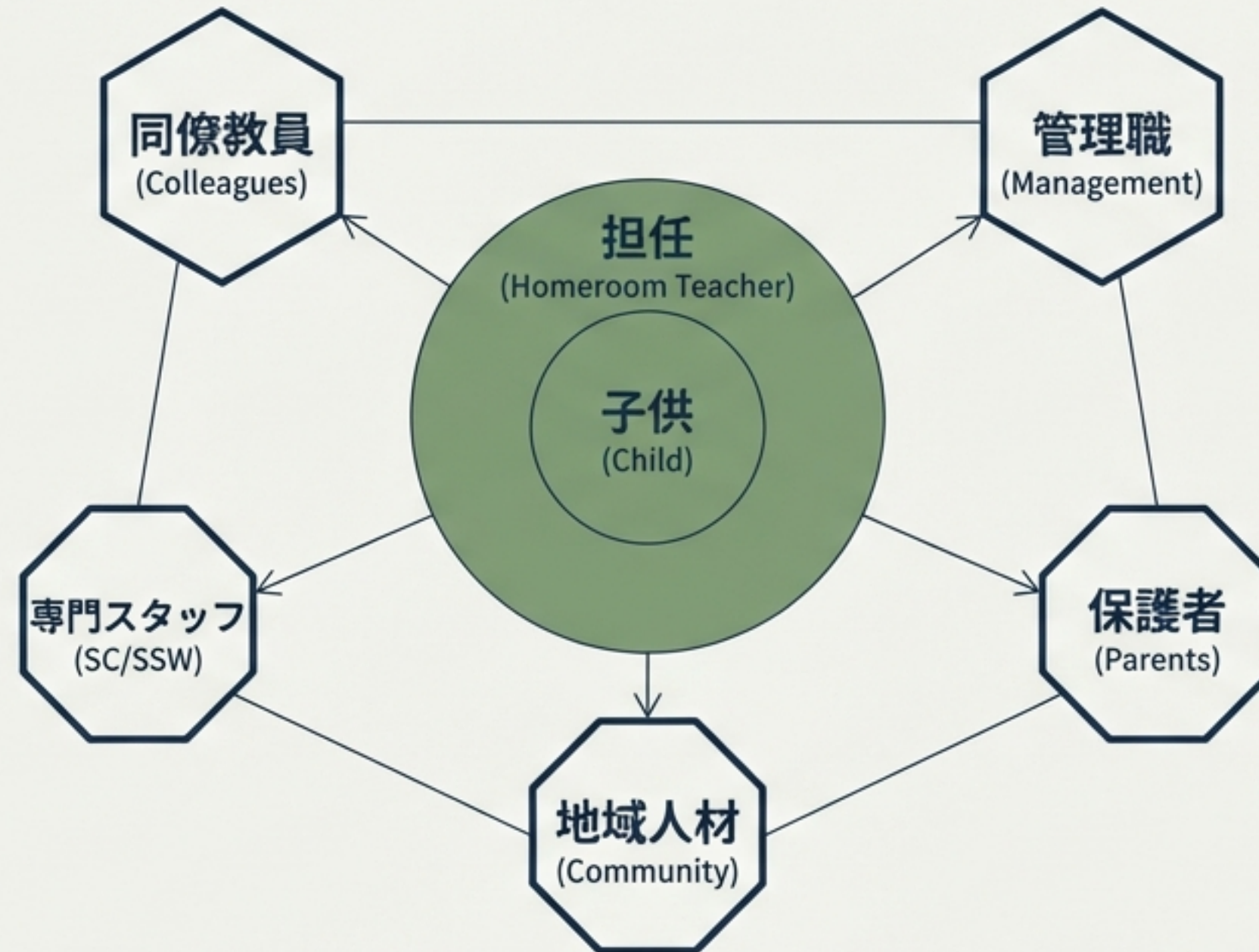
- ・豊かな人間性
- ・社会性
- ・コミュニケーション力

省察（リフレクション）による統合

# 新たな課題に対応するための5つの能力分類



# 「個」の限界を超え、「チーム学校」へ



「個」の対応から「組織」の対応へ。  
複雑化する課題に対し、教員一人ですべてを抱え込むことは困難であるため、外部との連携が不可欠。

# 拡大する教育課題（一人では対応しきれない現実）

## 生徒指導の複雑化

- ・ いじめ、不登校
- ・ 児童虐待
- ・ 貧困家庭への対応

## 新学習指導要領

- ・ キャリア教育
- ・ 外国語活動（小学校）
- ・ 道徳教育の教科化

## 環境・ニーズの変化

- ・ ICT活用の日常化
- ・ インクルーシブ教育
- ・ 幼小接続、学校間連携

高度な専門性を持ちつつ、これらすべてに対応するには「組織的な対応力」が不可欠。

# ICT活用指導力：「わかる授業」の実現のために



## なぜ、今ICTなのか？

---

### 1. 社会の要請

情報化社会（Society 5.0）を生き抜く子供たちに必須の「情報活用能力」を育てる。

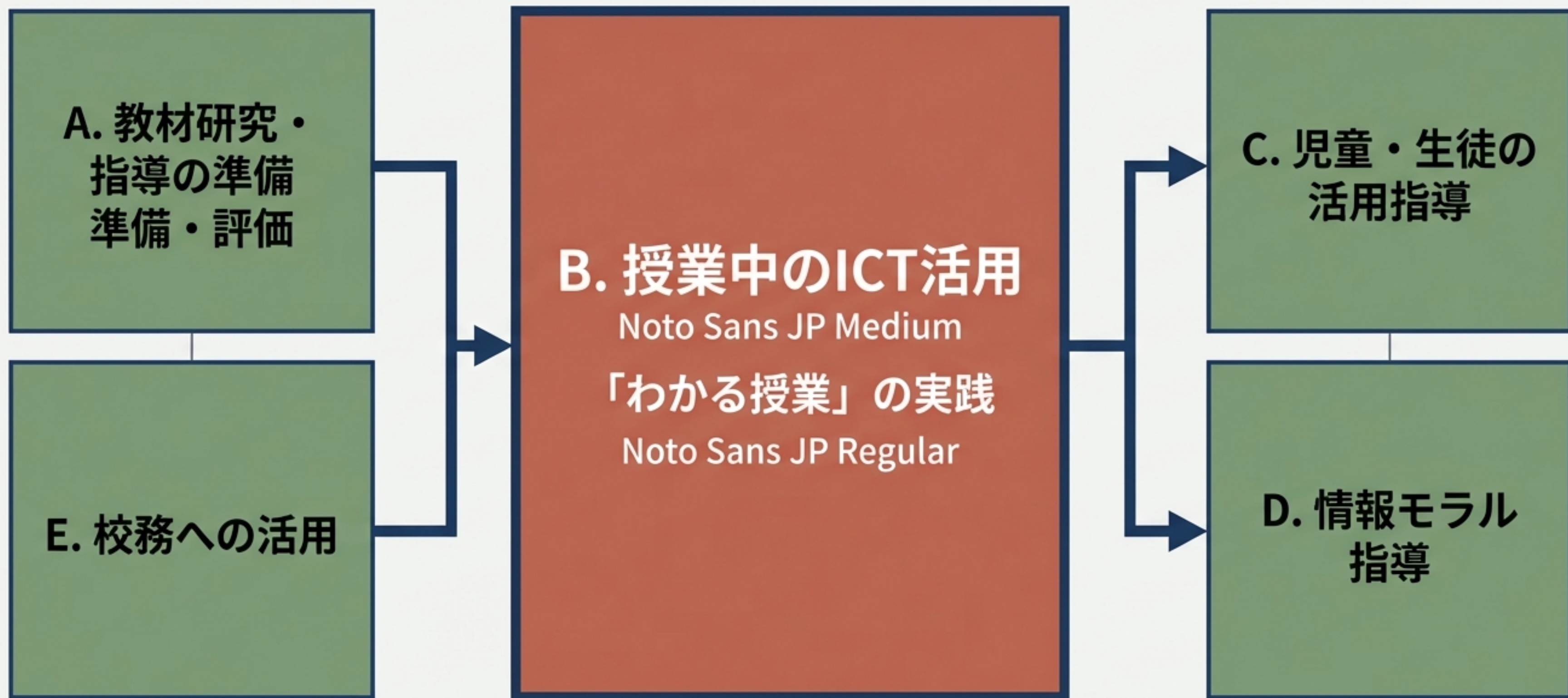
---

### 2. 授業の質向上

子供たちの興味・関心を高め、視覚的に「わかる授業」を実現する。

---

# 教員のICT活用指導力チェックリスト（5つの領域）



# 業務の効率化と基盤整備【領域 A & E】

## 領域 A：準備・評価



- ・インターネットでの教材・資料収集
- ・提示資料やプリントの作成（ワープロ・プレゼンソフト）
- ・成績管理・学習状況のデジタル集計

## 領域 E：校務



- ・文書作成による業務効率化
- ・教員間でのスムーズな情報共有
- ・保護者・地域との連携強化（ネットワーク活用）

# インパクトのある「わかる授業」へ【領域 B】



拡大提示装置やコンピュータを効果的に使い、視覚に訴える指導を行う。

# 子供たちの「使いこなす力」を育む【領域 C & D】



## 領域 C：活用能力（Literacy）

- |             |                       |              |
|-------------|-----------------------|--------------|
| 1. 情報の収集・選択 | 2. 考えをまとめ、<br>表現・発信する | 3. 反復学習による定着 |
|-------------|-----------------------|--------------|

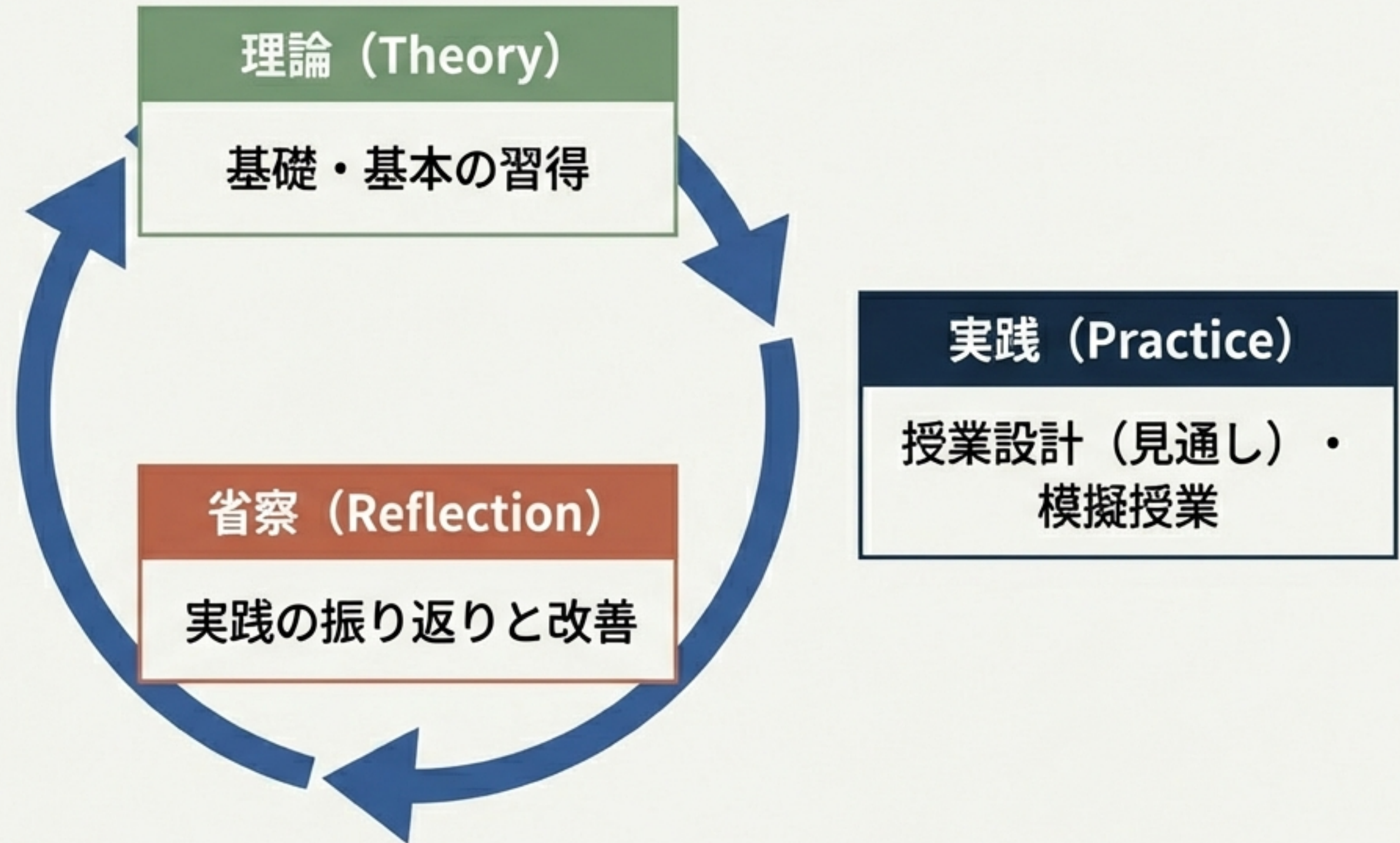


## 領域 D：情報モラル（Ethics）

- |                     |                         |                       |
|---------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. 責任ある態度と<br>権利の理解 | 2. 違法行為・ネット犯罪の<br>危険性認識 | 3. 健康面への配慮と<br>セキュリティ |
|---------------------|-------------------------|-----------------------|

# 成長のメカニズム：「理論と実践の往還」

ICTの効果的な活用を企図した指導略案の作成や模擬授業の実施を通じて、実践力を磨く。



# 【ワークショップ】 弱みを強みに変える

自分の資質・能力について「SWOT分析」を行う

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| Strengths (強み)     | Weaknesses (弱み) |
| Opportunities (機会) | Threats (脅威)    |

手順：

1. 自らの強みと弱みを分析する。
2. グループで話し合う。
3. 「弱みを強みに変える校内研修」を提案し、計画を立てる。



## 子供たちの模範となるために

変化の激しい時代において、教員自らが  
「学び続ける姿」を見せること。  
それは、子供たちの未来を切り拓く力となり、  
最強の生きた教材となる。

## 「学び続ける教員像」の確立へ